

訪問看護師版 暴力のKYT場面集



本場面集は、訪問看護師のための暴力のKYTを行うことを目的に作成されたものです。



A. 暴力のKYTとは	1
B. なぜ訪問看護師に暴力のKYTが必要なのか	2
C. 訪問先での暴力のKYTの場面	3
●場面1 泥酔している利用者に対応する	3
●場面2 大きな声で怒る利用者に対応する	4
●場面3 無言で反応のない利用者のバイタルサインを測定する	5
●場面4 不機嫌な利用者の足浴をする	6
●場面5 お茶を飲むよう強く勧める利用者に対応する	7
●場面6 帰る際、近寄ってくる利用者に対応する	8
●場面7 利用者と家族のケンカの仲裁をする	9
●場面8 血圧測定中、不自然に近づいてきた家族に対応する	10
●場面9 業務外の要求をする家族に対応する	11
D. 暴力のKYTシート	12



A 暴力のKYTとは

1973年、「ゼロ災害全員参加運動」開始に伴い、危険予知訓練は労働災害防止のために考案され、改良を重ねてきた手法であり、KYTのKは危険、Yは予知、Tは訓練（トレーニング）を意味する¹⁾。暴力のKYTも、単に死亡・休業災害がなくなればよいという考えではなく、職場や作業にひそむすべての危険を発見・把握・解決し、暴力による健康障害や労働災害を根底からゼロにしていく理念ならびに4ステップ²⁾で進めていくことは同じである（表1）。医療事故のKYTは、患者が被る医療事故の発生防止を目的としているが、暴力のKYTは職員が被る暴力事故の発生防止を目的としている（表2）。医療事故では加害者が職員で被害者が患者であるのに対し、暴力事故では加害者が患者で被害者が職員という点で異なる。暴力行為者は患者に限定されるものではないが、職員が被る暴力被害の頻度が高くその影響は深刻であり、職場にひそむ危険に気づき、解決していくための訓練が必要となる。医療事故の発生要因はヒューマンエラーと言えるが、暴力事故は本人の錯誤や不注意で引き起こされるのではない。

表1 暴力のKYTの4ステップ

ステップ	内容	進め方
1	危険要因を想定する どんな危険があるのか	潜在する危険を発見・予知し、危険要因により引き起こされる現象を想定する
2	重大な危険要因と現象を絞り込む 重要な危険ポイントは何か	予知した危険要因と現象のうち重大な危険要因を絞り込み、◎をつける
3	具体策 自分ならこうする	◎印をつけた重要な危険要因と現象を解決するために、具体的で実行可能な対策を考える
4	チーム行動の目標 私たちはこうする	具体策から重点項目を絞り込み、それを実施するためのチーム行動目標を設定する

出典先：三木明子，黒田梨絵：暴力のKYT場面集 <http://www.medsafe.net/recent/161anzenryoku.html>

表2 医療事故のKYTと暴力のKYTの比較

	医療事故のKYT	暴力のKYT
1. 目的	医療事故の発生防止	暴力事故の発生防止
2. 加害者・被害者	加害者：職員 被害者：患者	加害者：患者 被害者：職員
3. 発生要因	ヒューマンエラー	本人の錯誤・不注意で発生するものではない
4. ツール	イラスト・写真	イラスト
5. 研修方法	主に机上で話し合い	主にロールプレイをしながら話し合い

出典先：三木明子，黒田梨絵：暴力のKYT場面集 <http://www.medsafe.net/recent/161anzenryoku.html>

引用文献

1. 中央労働災害防止協会編：危険予知活動トレーナー必携。東京：中央労働災害防止協会，103-127，2012。
2. 三木明子，友田尋子：事例で読み解く 看護職員が体験する患者からの暴力。東京：日本看護協会出版会，75-76，184-193，2010。



B なぜ訪問看護師に暴力のKYTが必要なのか

訪問看護で「暴力ってそんなにあること?」「暴力ってそんな大げさに考えなくても」と思う人もいるかもしれない。暴力を受けた経験や、暴力に対する感受性の差によって身近に感じる問題であるかは個人差が大きいだろう。しかし、訪問看護師が利用者・家族から受ける暴力に関して、これまでいくつかの調査や報告から、身近な問題として受け止めなければならない現状がある。2008年の全国調査では「訪問看護師としての経験の中で、身体的暴力を受けたことがある」が33.3%³⁾、2016年の神戸市内の調査では2人に1人に暴力を受けた経験があった⁴⁾。訪問看護師や管理者が苦慮しながら、暴力に対応している実態も報告されている⁵⁾。

暴力が発生した時に、十分な支援体制がとれない背景を何点か挙げる。訪問看護師はサービス利用契約を結んだ利用者宅を定期的に訪問するが、利用者や家族との信頼関係の構築が必要とされ、暴力が発生しても訪問看護師自身が暴力と認識しにくい。基本的に一人で利用者宅を訪問するため、利用者や家族に一人に対応する状況がある。ケア提供のため、利用者の身体に触れる機会がある。利用者宅と事業所（訪問看護ステーション）とは距離がある。事業所は少人数で女性が多い。携帯電話は常に所持していても、暴力事案が生じた状況の中で緊急通報は非常に困難である。これらの訪問看護師の職場環境から、支援体制を整えることは容易でないとと言える。

院内暴力対応については、医療安全管理者講習として暴力のKYTを活用した取り組みも行われている^{7) 8)}。また地域で活動する保健福祉領域の従事者のための暴力防止マニュアルでは、住民から受ける暴力に対して、具体的な事例や対応方法が示されている⁹⁾。暴力が発生した際に、利用者や家族に「ケアの必要性・緊急性の判断」と、自らの「安全が脅かされる危険性の判断」が重要となる。訪問看護師が利用者宅で暴力の発生を予測し、その状況に応じた対策を講じることができるよう、訪問看護師の教育のために、本暴力のKYTの場面集を活用いただきたい。

引用文献

3. 武ユカリ, 畑吉節未: 在宅ケアにおけるモンスターペイシェントに関する調査. 在宅医療助成勇美記念財団助成. <http://www.zaitakuiryo-yuumizaidan.com/main/result.php?year=2008> (2017/9/24閲覧)
4. 林千冬, 今岡まなみ, 藤田愛他: 【調査報告】訪問看護師が利用者・家族から受ける暴力の実態と対策—兵庫県下における実態調査の結果から. 訪問看護と介護22(11): 847-857, 2017.
5. 藤田愛, 村崎郁子, 牛渡君江他: 特集 あなたならどうする? 訪問看護におけるトラブル. コミュニティケア18(2): 10-28, 2016.
6. 三木明子: 暴力・セクシュアルハラスメントなどの防止策. コミュニティケア19(7): 58-62, 2017.
7. 三木明子, 陳宥伶: 患者暴力への対応力を高めるための職員教育. 病院安全教育1(6): 27-32, 2014.
8. 三木明子, 黒田梨絵: 暴力のKYT研修—患者からの暴力にどう対応するか? 病院安全教育2(1): 85-92, 2014.
9. 住民からの不当暴力やクレーム等に対峙する地域保健従事者の日常活動の「質」を保証する組織的安全管理体制の構築に関する研究班: 地域保健福祉領域において従事者が住民から受ける暴力防止のためのマニュアル第2版, 厚生労働科学研究費補助金, 平成26年3月 (2014), <http://www.go-go-hokenshi.com/pdf/2014manuals.pdf> (2017/9/24閲覧)





C 訪問先での暴力のKYTの場面

場面

1

泥酔している利用者に対応する



〈状況〉

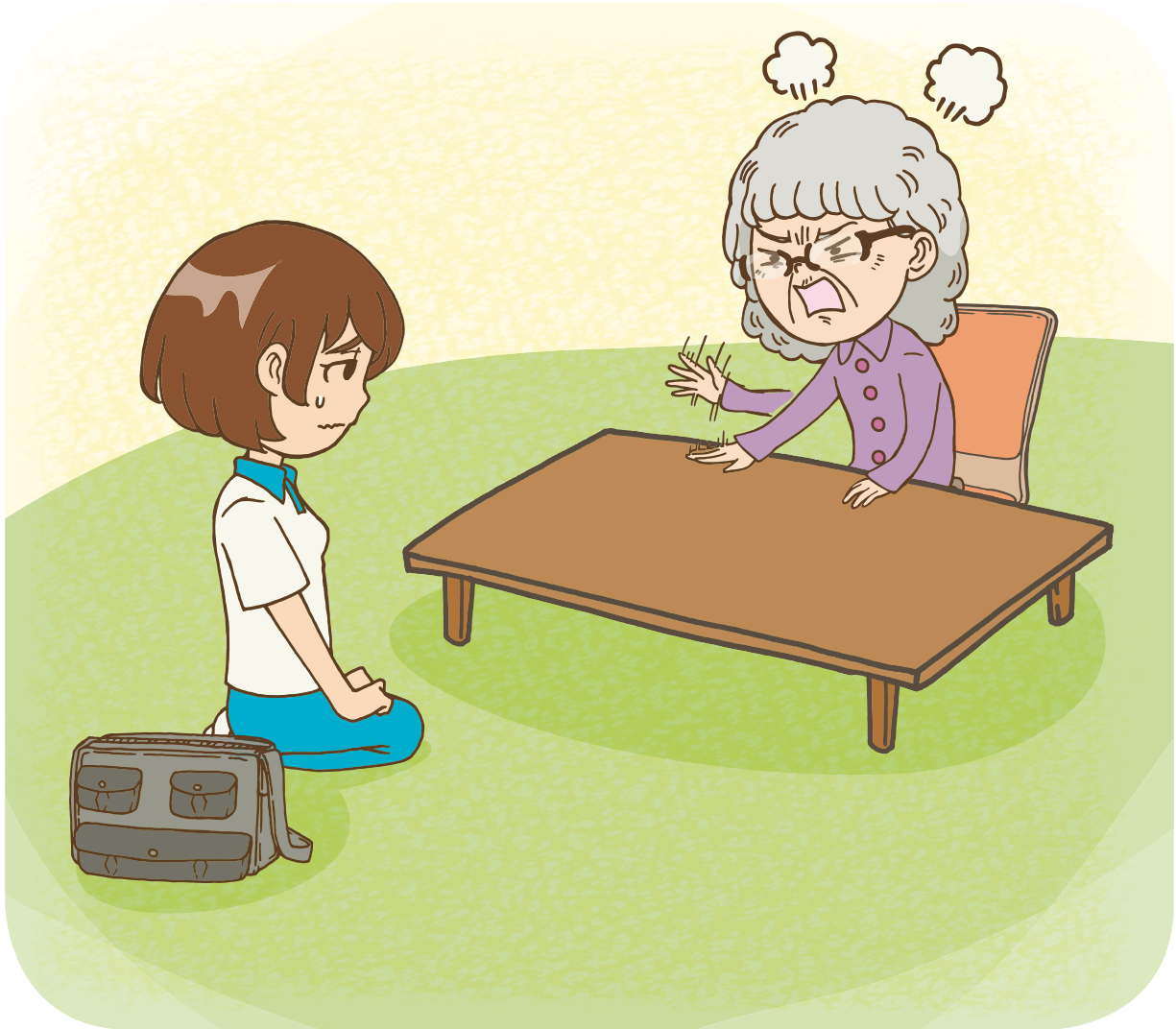
あなたが訪問すると、玄関先で酒癖の悪い利用者が泥酔している。



場面

2

大きな声で怒る利用者に対応する

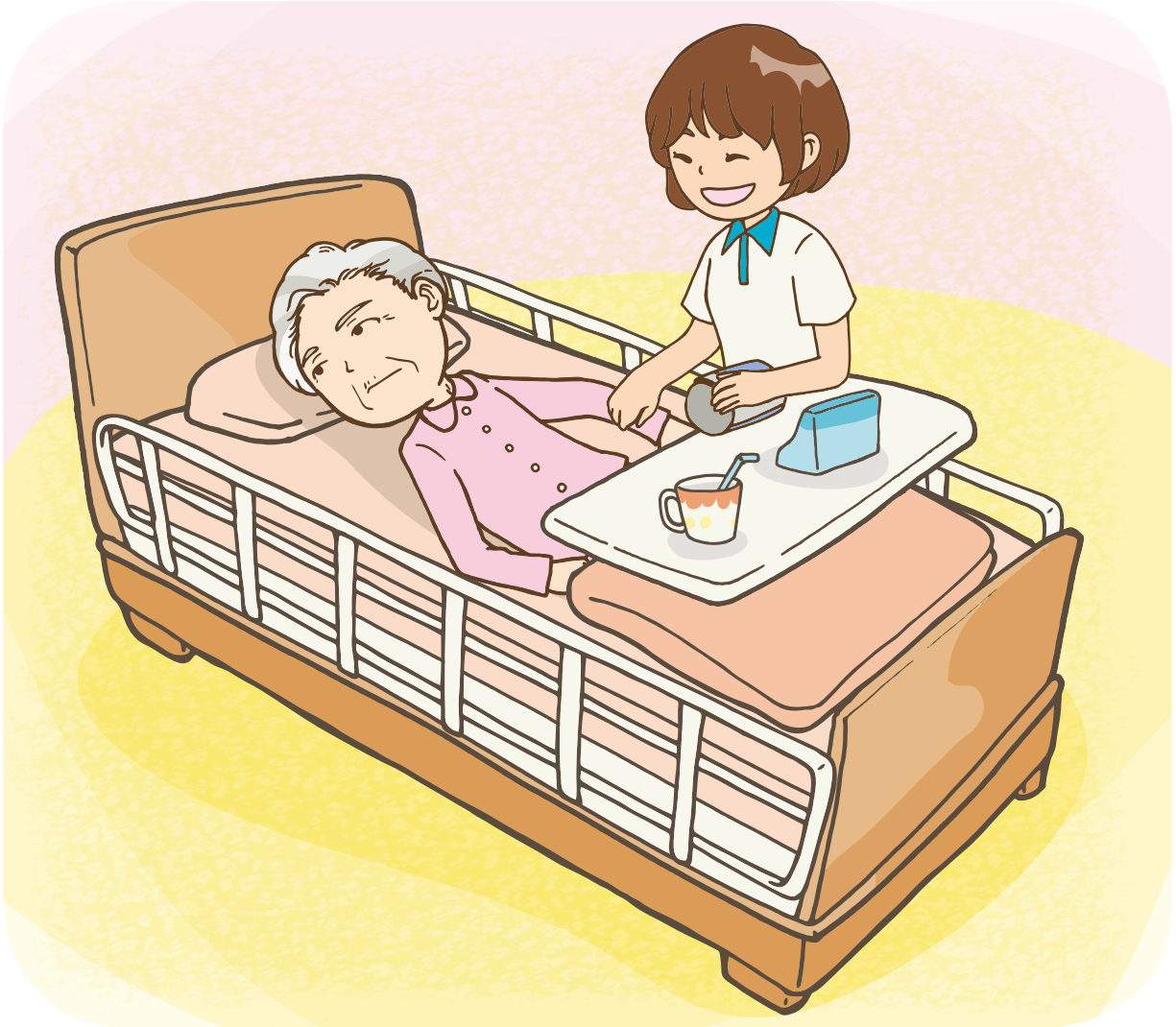


〈状況〉

利用者は不満を言い出すと止まらなくなることがあった。あなたが訪問すると、「ちょっと座って！」と大きな声で怒り出した。

場面
3

無言で反応のない利用者のバイタルサインを測定する



〈状況〉

利用者は日常、気分にもラがあった。今日の利用者は無言で反応がないが、あなたは血圧測定をしようとする。



場面

4

不機嫌な利用者の足浴をする

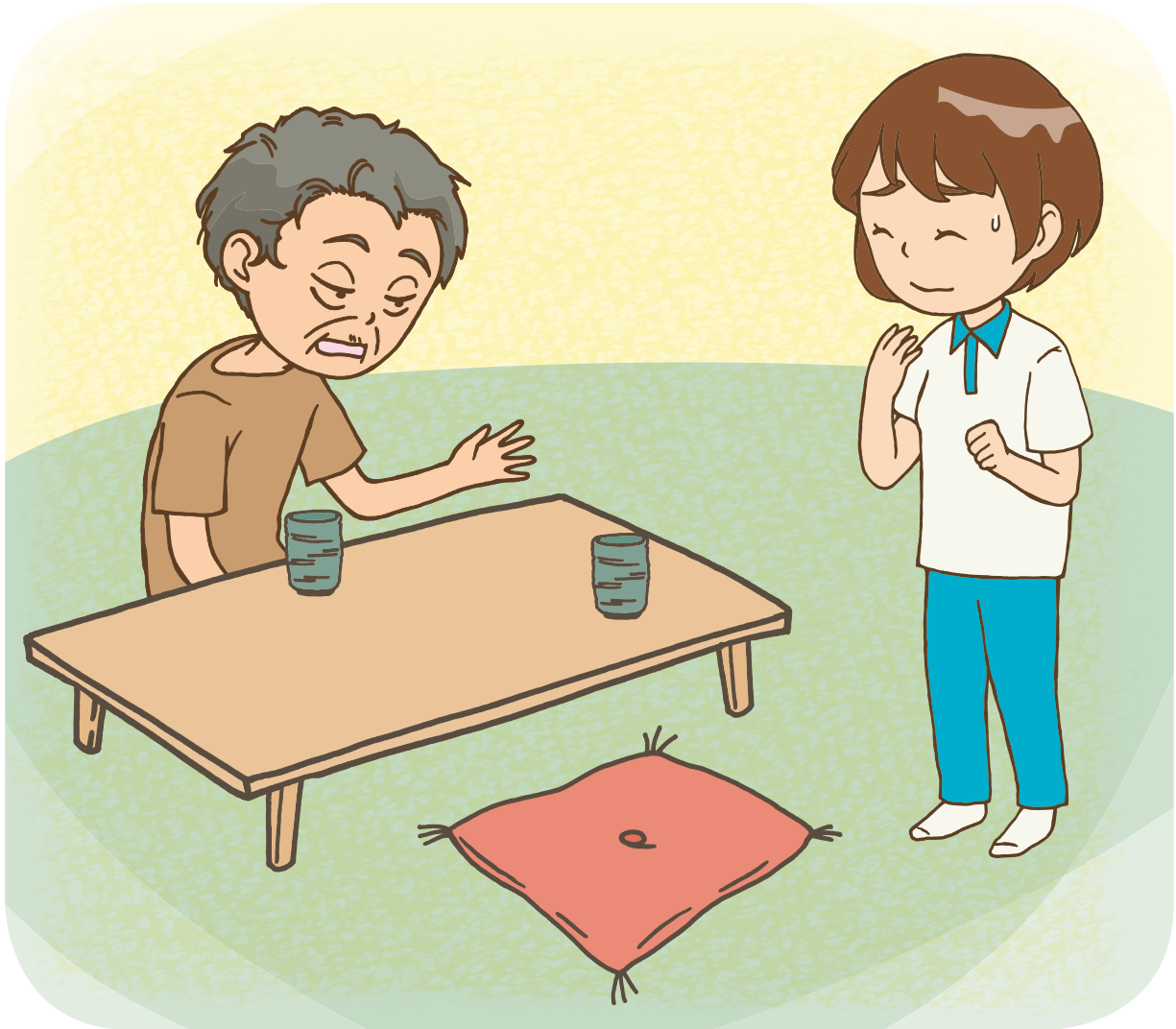


〈状況〉

利用者は過去に暴力行為があった。今日の利用者は不機嫌そうだが、あなたは足浴をしようとする。

場面
5

お茶を飲むよう強く勧める利用者に対応する

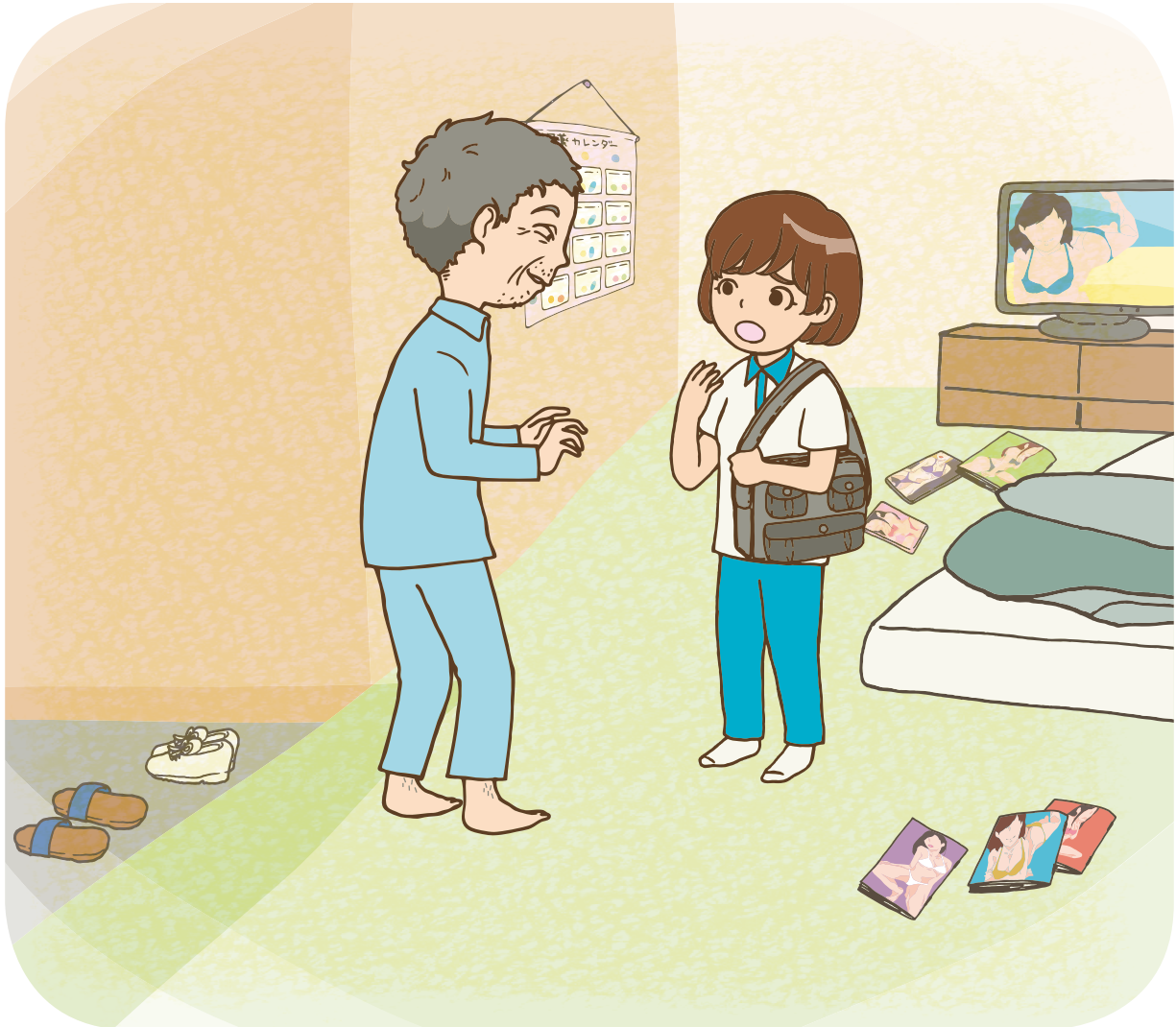


〈状況〉

利用者は精神疾患があり薬物治療をしている。「聞いてもらいたいことがある」と言い、あなたにお茶を飲むように強く勧めてきた。

場面
6

帰る際、近寄ってくる利用者に対応する

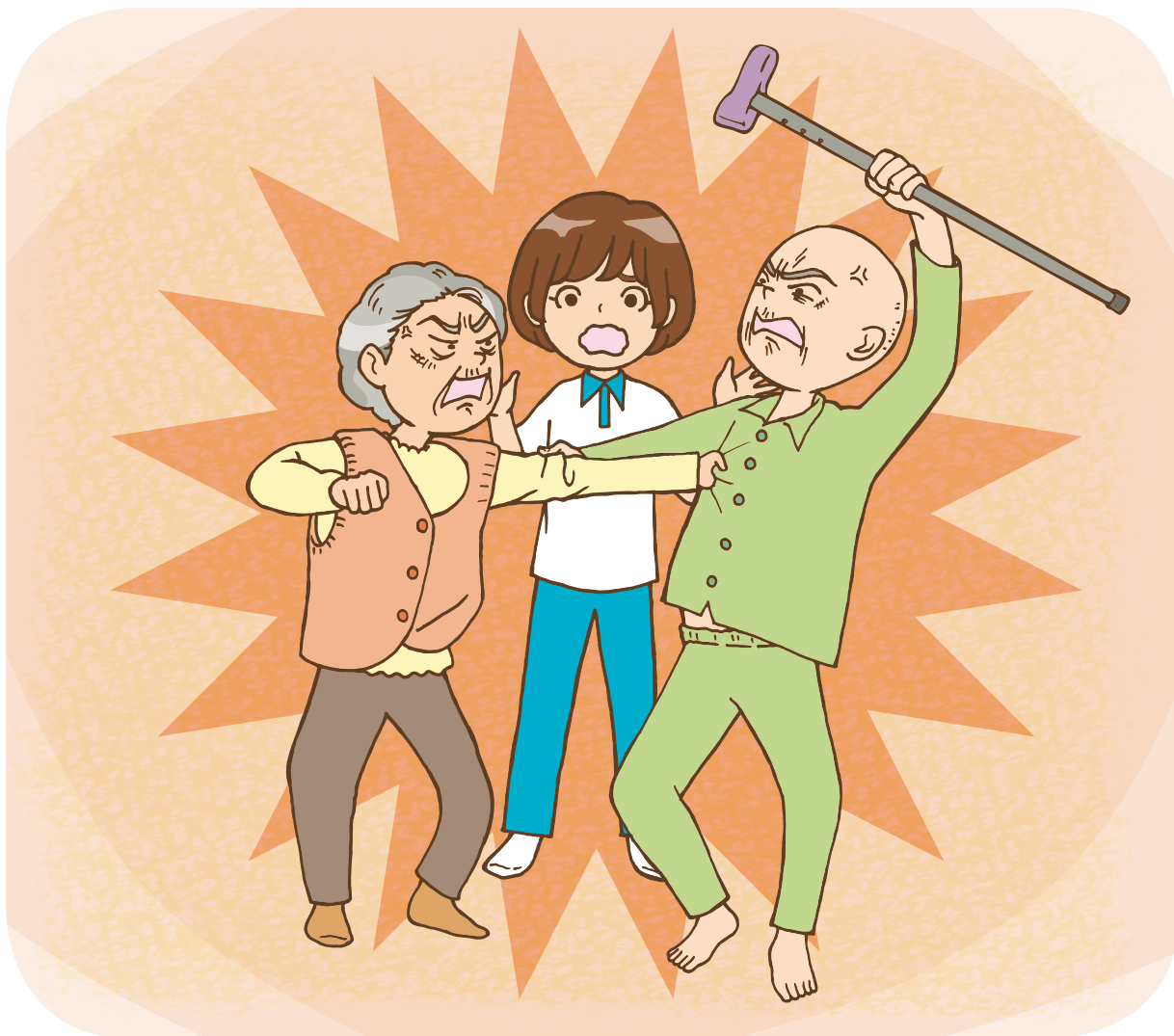


〈状況〉

訪問時間が終了し、あなたが帰ろうとすると、利用者が近寄ってきた。

場面
7

利用者と家族のケンカの仲裁をする

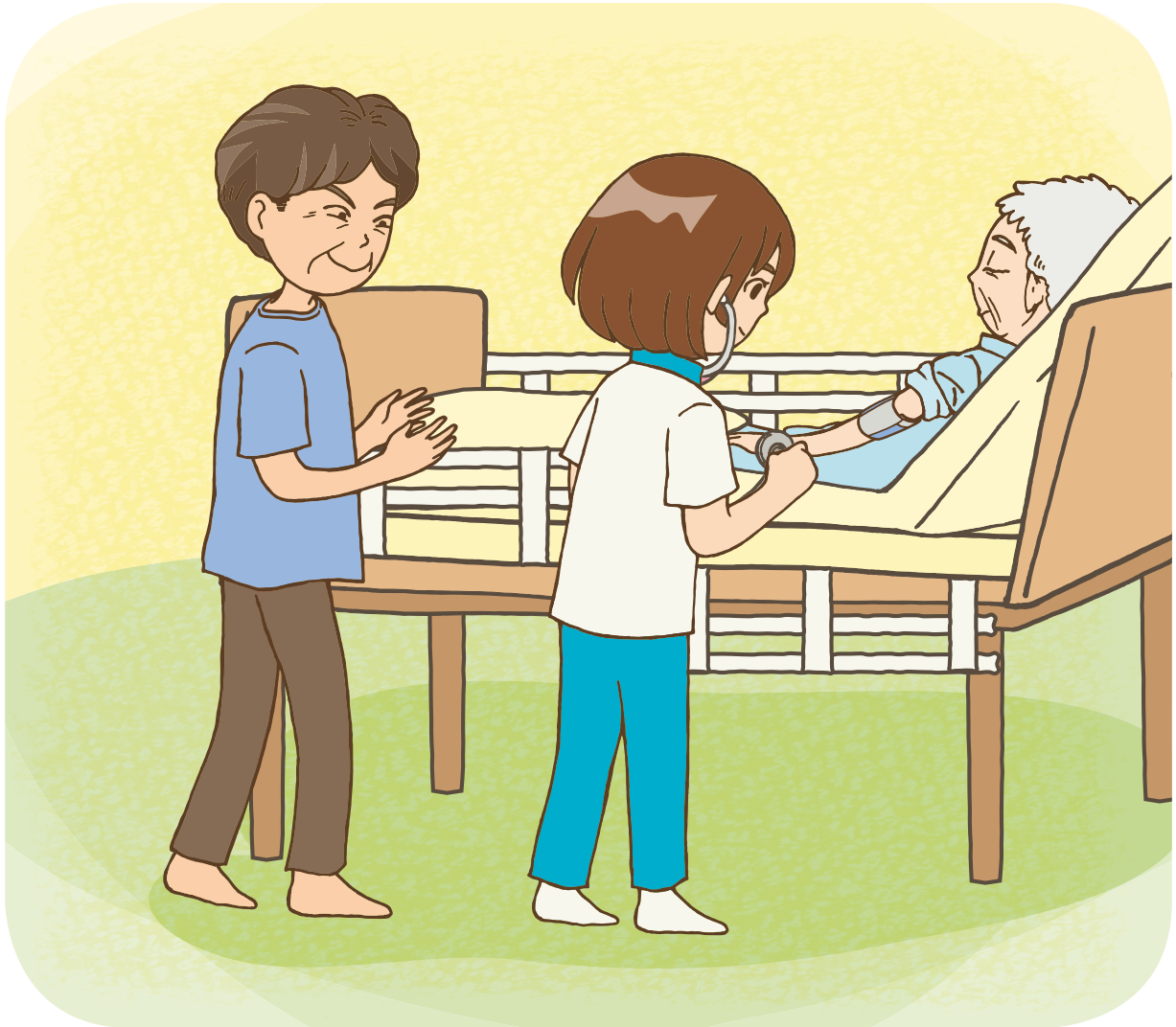


〈状況〉

以前より利用者と妻の折り合いが悪かった。あなたが訪問すると、二人がつかみ合いのケンカをしていた。

場面
8

血圧測定中、不自然に近づいてきた家族に対応する

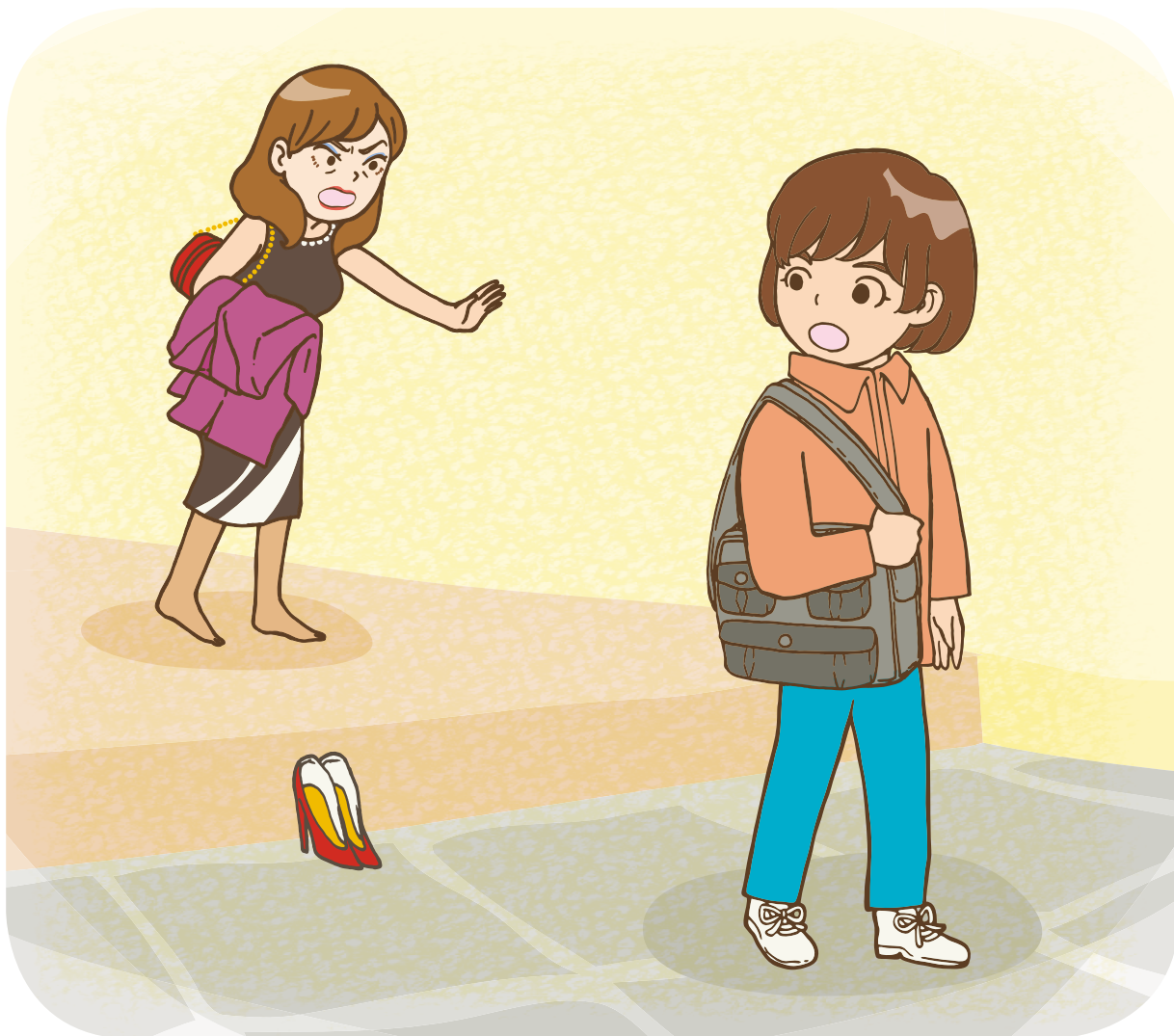


〈状況〉

これまで介護者の息子が、不自然に近づいてくることがあった。利用者の血圧測定をしていると、息子があなたに近づいてきた。

場面
9

業務外の要求をする家族に対応する



〈状況〉

これまで自分の要求が通らないと家族が怒りだすことがあった。訪問終了後、帰ろうとするあなたを呼び止め、「出かけるから途中まで車に乗せてって!」と言っている。





暴力のKYTシート

第1ステップ：危険要因を想定する【どんな危険があるのか】

潜在する危険を発見・予知し、危険要因により引き起こされる現象を想定する

No	危険要因と現象『～なので・・・になる』『～すると・・・になる』と書く
1	
2	
3	

第2ステップ：重大な危険要因と現象を絞り込む【重要な危険は何か】

予知した危険要因と現象のうち重大な危険要因を絞り込む *上の左欄に◎を1つ記入

第3ステップ：具体策【自分ならこうする】

重大な危険要因と現象を解決するために、具体的で実効可能な対策を考える

◎	No	具体策
	1	
	2	
	3	

第4ステップ：チーム行動の目標【私たちはこうする】

具体策から重点項目を絞り込み、それを実施するためのチームの行動目標を設定する

チーム行動目標

訪問看護師のための暴力のKYT場面集

作成日：2017年10月1日

作成者：武ユカリ¹⁾，三木明子²⁾

1) 神戸常盤大学短期大学部

2) 筑波大学医学医療系

2017© 訪問看護師のための暴力のKYT：場面集

本場面集は、科学研究費補助金（基盤研究C）の助成を受け作成しました。

研究課題名

「訪問看護利用者、家族による暴力の危険予知訓練プログラム構築と実施効果の検討」

（研究代表者：武ユカリ 課題番号：15K11573）

